

# クラウドアプリケーション用 Cisco Crosswork Data Gateway 3.0.2 リリースノート

初版：2021年12月21日

最終更新：2022年3月4日

このドキュメントでは、機能、互換性情報、アップデートなど、Crosswork Data Gateway 3.0.2に関する情報を提供します。

## 製品の概要

Crosswork Data Gateway は、モデル駆動型のスケーラブルなデータ収集プラットフォームであり、マルチプロトコル対応デバイスからのリアルタイムのデータ収集を可能にするため、ネットワークからのデータを必要とする複数のアプリケーションの複数の収集ポイントの必要性が軽減されます。

Crosswork Data Gateway は、データを収集するサービスと収集されるデータのタイプを一元的に可視化します。

Cisco Crosswork Data Gateway はスタンドアロン製品ではなく、Crosswork オンプレミスまたは Crosswork Cloud アプリケーションで使用することが想定されています。Cisco Crosswork Data Gateway に必要な個別のソフトウェアライセンスはありません。

## リリースの詳細

シスコは、Crosswork Data Gateway の更新されたビルドを[シスコのサポートおよびソフトウェアダウンロードページ](#)でリリースしています。

Cisco Crosswork Data Gateway は、Cisco Cloud Services Platform (CSP) または VMware を使用してデータセンターにインストールできます。導入に使用されるファイルは、これらの各環境固有のもので、使用：

- \*.ova ファイル：VMware に Crosswork Data Gateway をインストールします。



(注) 最新の Mozilla Firefox バージョンを使用して .ova イメージをダウンロードする場合、ダウンロードしたファイルの拡張子が .dms である場合は、インストール前に拡張子を .ova に戻します。

- \*.qcow2 ファイル : Crosswork Data Gateway を Cisco Cloud Services Platform (CSP) に導入します。

## Crosswork Data Gateway 3.0.2 の機能強化

このセクションでは、このリリースで提供される機能強化を一覧表示します。

表 1 : Crosswork Data Gateway 3.0.2 の新機能

機能	説明
強化された監視とトラブルシューティング	Crosswork Data Gateway VM の対話型コンソールに [診断 (Diagnostics) ]サブメニューを追加して、Crosswork Data Gateway VM の状態と正常性を表示します。

このリリースでは、次のバグが解決されました。

- [CSCwa95058](#) : イメージのダウンロード中に発生する、イメージマネージャからコントローラゲートウェイへのタイムアウトの問題
- [CSCwa47257](#) : シスコ製品に影響を与える ApacheLog4j ライブラリの脆弱性 : 2021 年 12 月
- [CSCwa40432](#) : bash 引用処理時に機能するように tcpdump フィルタオプションをリファクタリングする
- [CSCwa38262](#) : リポートカウンタの問題

## 互換性に関する情報

Crosswork Data Gateway リリース 3.0.2 は、次の Crosswork Cloud アプリケーションでの使用が検証されています。

- Cisco Crosswork Trust Insights
- Cisco Crosswork Traffic Analysis

次の最小要件を満たすホストに VM として Crosswork Data Gateway を導入できます。

表 2:クラウドアプリケーション用 **Crosswork Data Gateway 3.0.2 VM** 要件

要件	説明
データセンター	<p>VMware</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• VMware vCenter Server 7.0、ESXi 7.0 をホストにインストール済みであること。</li><li>• VMware vCenter Server 6.7 (Update 3g 以降) 、ESXi 6.7 Update 1 をホストにインストール済みであること</li></ul> <p>(注) VMware vCenter Server 6.5 のサポートは廃止されました。</p> <p>Cisco CSP</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Cisco CSP 2.8.0.276 以降</li></ul> <p>許可されたハードウェア : CSP-2100、CSP-2100-UCSD、CSP-2100-X1、CSP-2100-X2、CSP-5200、CSP-5216、CSP-5228、CSP-5400、CSP-5436、CSP-5444、CSP-5456</p>
メモリ	32 GB
合計ディスク容量	74 GB
vCPU	8

要件	説明			
インターフェイス	最小値：1 最大値：3 Crosswork Data Gateway は、次の組み合わせに従って、1、2、または3つのインターフェイスのいずれかで展開できます。			
	NIC の数	vNIC0	vNIC1	vNIC2
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理トラフィック</li> <li>制御/データトラフィック</li> <li>デバイスアクセストラフィック</li> </ul>	—	—
	2*	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理トラフィック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制御/データトラフィック</li> <li>デバイスアクセストラフィック</li> </ul>	—
	3*	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理トラフィック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制御/データトラフィック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デバイスアクセストラフィック</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>管理トラフィック：UI とコマンドラインにアクセスし、サーバー間で（たとえば、Crosswork アプリケーションと Cisco Crosswork Data Gateway 間）設定情報を渡すために使用されます。</li> <li>制御/データトラフィック：Crosswork Data Gateway と Crosswork アプリケーション間でデータと設定を転送するために使用されます。</li> <li>デバイスアクセストラフィック：デバイス管理およびテレメトリデータの場合。</li> </ul> <p>(*)：実際の導入の場合、3つのNICを使用する導入をお勧めします。これは、すべての管理トラフィック（DNSからVM、NTP、およびアプリケーションへのアクセスと管理に使用するネットワーク間）用の1つのインターフェイス、データネットワーク用の2番目のインターフェイス（Cisco Crosswork と Cisco Crosswork Data Gateway VM 間の接続）と、ネットワーク内のデバイスと通信するための3番目のインターフェイスを使用する導入です。</p>				

要件	説明
IP アドレス	<p>使用するインターフェイスの数に基づいて、1つ、2つ、または3つのIPv4/IPv6 アドレス。</p> <p>(注) Cisco Crosswork はデュアルスタック構成をサポートしていません。したがって、環境のアドレスはすべて IPv4 または IPv6 のいずれかである必要があります。</p>
NTP サーバ	<p>使用する NTP サーバの IPv4/IPv6 アドレスまたはホスト名。複数の NTP サーバを入力する場合は、それぞれをスペースで区切ります。これらは、ネットワーク全体でデバイス、クライアント、およびサーバを同期するために使用する NTP サーバと同じでなければなりません。NTP IP アドレスまたはホスト名がネットワーク上で到達可能であることを確認します。到達可能でない場合、インストールは失敗します。</p> <p>Crosswork Cloud アプリケーションと Crosswork Data Gateway VM を NTP サーバに同期する必要があります。同期しない場合、Crosswork Cloud への登録が行われない場合があります。</p>
DNS サーバ	<p>使用する DNS サーバの IPv4/IPv6 アドレス。これらは、ネットワーク全体でホスト名を解決するために使用する DNS サーバと同じである必要があります。</p>
DNS 検索ドメイン	<p>DNS サーバで使用する検索ドメイン (たとえば、cisco.com)。検索ドメインは1つのみ設定できます。</p>

## 関連資料

次の表に、クラウドアプリケーション用の Cisco Crosswork Data Gateway 3.0.2 に提供されるガイドがリストされています。

マニュアルタイトル	内容
『Cisco Crosswork Data Gateway 3.0.2 Release Notes』	<p>このマニュアル</p> <p>製品の概要、互換性情報、および製品を使用する前に考慮する必要がある重要な情報を提供します。</p>

マニュアルタイトル	内容
<a href="#">クラウド導入のための Cisco Crosswork Data Gateway 3.0.2 インストールおよび設定ガイド</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• システム要件</li> <li>• インストール前提条件</li> <li>• インストール手順</li> <li>• アップグレード手順</li> <li>• Crosswork Data Gateway のアンインストール</li> <li>• Crosswork Data Gateways の設定</li> </ul>

#### その他の関連ドキュメント

このセクションでは、Cisco Crosswork Data Gateway 3.0.2 の追加の関連ドキュメントへのリンクを提供します。

- [Cisco Crosswork Trust Insights](#)

すべての Cisco Crosswork 製品のドキュメントには、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/crosswork-network-automation/tsd-products-support-series-home.html> でアクセスできます。

#### Cisco Crosswork API のマニュアル

上級ユーザーは、製品 API を使用して Cisco Crosswork 製品の機能を強化できます。製品 API の詳細については、Cisco DevNet の『[Cisco Crosswork Network Automation API Documentation](#)』を参照してください。

## オープンソース

Cisco Crosswork で使用されるオープンソースソフトウェアのリストは、[Crosswork Data Gateway で使用されるオープンソースソフトウェア](#)から確認できます。

## アクセシビリティ機能

すべての製品マニュアルは、イメージ、グラフィック、および一部のチャートを除き、閲覧可能です。音声、点字、または大きな文字の製品マニュアルが必要な場合は、[accessibility@cisco.com](mailto:accessibility@cisco.com) にお問い合わせください。

製品マニュアルをアクセス可能な形式に変換できなかった場合は、シスコカスタマー エクスペリエンス チームにお問い合わせください。

## マニュアルを入手してサービス リクエストを送信する

マニュアルの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービスリクエストの送信、追加情報の収集の詳細については、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。

新しく作成された、または改訂されたシスコのテクニカルコンテンツをお手元で直接受け取るには、『[Cisco Notification Tool](#)』をご購読ください。





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。